

SDGsと生物多様性考える

大曲南中でワークショップ

大曲南中学校(島田智校長・全校生徒69人)でこのほど、洋上風力発電大手日本法人のオーステッド・ジャパン(本社・デンマーク王国フレゼリシア)の環境授業「カードゲームで知って学ぼうSDGsと生物多様性」VRで体験してみよう洋上風力発電」が開催された。

環境授業ではオーステッド・ジャパンの奥村憲(環境・許認可プロジェクトマネージャー)と一般社団法人あきた地球環境会議(CEEA)の福岡真理子理事・事務局長がSDGsの17のゴールの意味と洋上風力発電が貢献するSDGsゴールについて解説。また気候変動と生物多様性損失

の2つの危機に同時に対処していくオーステッドのメッセージを、事業地の生態系の保全・修復に関するプロジェクトとともに紹介した。

CEEA提供のカードゲームを使って、人間と海の生き物の関係についてディスカッションも行った。カードには、タコやタイナ

パンのヘンリエッタ・ホルム代表取締役社長は「生物多様性を保ちながら再生可能エネルギー事業の開発・運営に取り組み我々のメッセージを伝えられたことを嬉しく思う。今後このようなSDGsへの取り組みや、生物多様性に貢献する取り組みを紹介する機会を全国でも展開し、より多くの子ども達や一般の人たちに向けて、海洋生物の多様性、洋上風力発電事業の啓蒙活動を実施していき

い」とコメント。島田校長は「クリーンエネルギーによる気候変動への対応と、海の生態系への配慮を、洋上風力発電を通じて取り込む、グローバル企業のリアルな現場の話を興味深く伺った。学校で教えるのはなかなか難しいテーマでもあり、生徒達が再生可能エネルギー、環境への見聞、知識を深める意義深い授業になった。今後の学校授業でも今回の内容を活かしていきたい」と述べた。

3年生の最上東陽さんは「VR体験では細部まで再現されていて、その場にいるような雰囲気味わえた。洋上風力は再生可能エネルギー

出来るので、地球温暖化対策にもなりSDGsにも関連することなのでとても良いことだと思った」と話した。



真剣に話を聞く生徒



活動内容などを紹介



カードゲームをする生徒



VRを体験

GOLF

グランドシニアレディスオープン

2023年5月17日

①高橋 勝巳	60	69	9
②高橋 厚子	61	73	12
③渋谷 榮市	65	83	18
④菊地 壽	68	72	4
⑤泉 寅雄	68	73	5
BG高橋 勝巳	69=	35	34



大仙市民ゴルフ倶楽部

まる動

大仙市角間川町のフルヤモール(古谷武美代表取締役)がこのほど、会社周辺の道路の清掃活動を実施した。社員約30人が参加

に行っている。コロナ禍で2年中断して3年ぶりに実施した。社員は黄緑色で背中

りごみを拾い集めた。タバコの吸殻や空き缶、それに春先ということもあり農作業用のビニール袋なども落ちていた。

さには秋田の風景ともいえる場所。気持ちよく通ってもらいたいという思いで、入社2

年目ではじめてイベントTシャツを着た福田春菜さん(19)は「今までコロナ禍で会社の行事も出来なかつた

ので、みんなでTシャツを着て参加できたことは新鮮だった。思ったよりもポイ捨て

みが少しでも減ってくれば嬉しい」と話した。ごみはごみ袋5個分が集まった。